

北中野中学校区地区懇談会ニュース

令和5年3月14日発行

令和4年度 第2号

「心豊かに、たくましく育てよう」～地域のネットワークを生かそう～

地区懇談会とは、区内中学校区ごとに開催され、子どもや家庭をめぐる課題、家庭・地域・学校の連携に関する課題について解決に向けて協議し、地域活動を促進するとともに連携強化をすすめる場です。

令和4年度 第2回北中野中学校区地区懇談会 2月9日(木)午後2時～4時

「コロナ禍での現状と地域の関わり」 都立稔ヶ丘高校ラウンジ

北中野中学校区地区懇談会 代表 小野 未央

第1回地区懇談会では、対面開催でリアルに皆様に聞くことが出来て本当によかったと思うとともに、コロナ禍での工夫した活動をもっと色々聞いてみたいのご意見が多数ございました。そこで参加団体それぞれの活動に何か繋げていければ・・・ということと、コロナ禍で過ごしている子ども達を地域で連携して育てていければという思いで、第2回を開催したいと思います。この会で得たものを一つでも皆様方のところに持ち帰っていただき、何かの一助にいただけたらと思います。

今回は32名の参加者での開催。PTAや町会などの育成団体がコロナ禍でどのように工夫しながら活動しているか報告しました。その後6グループに分かれて懇談し、様々な意見を出し合いました。

～ウィンターコンサートの開催～ 武蔵台小学校PTA会長 松村 瑞香 氏

3年ぶりにウィンターコンサートを開催しました。開催前の課題は、開催規模・来場者をどうするかということでした。今年度は出演団体を3団体(武蔵台小・北中野中・武蔵丘高)にし、来場者を出演者の関係者としました。従来通りの開催を希望する声もたくさんいただきましたが、学校とも相談して縮小しての開催としました。運営面では、武蔵台小学校PTAは令和2年度より新体制となったのですが、コロナの影響で2年間コンサートが見送られたこともあり、本部の4名が初めて運営を手がけるコンサートとなりました。分からないことが多いながらも、今まで使っていた看板を手作りで新調するなど、少ない人数でしたが頑張りました。その結果、当日は多くの方にご来場いただき、また、出演した児童・生徒のみなさんも堂々とすばらしい演奏を披露してくれました。来年は、たくさんの方に来ていただけるように開催方法も前向きに検討し、規模を拡大できればと思っています。



～バスハイク・もちつき体験会の実施～ 上鷺宮四丁目町会 山中 美和 氏

上鷺宮四丁目町会では、バスハイクともちつき体験会をそれぞれコロナの感染状況をみながら実施しました。バスハイクでは、バスを例年の中型から大型に変更。乗車前の検温と、マスクを着用のうえ家族単位で座ってもらい、水分補給以外の飲食は控えてもらいました。場所も屋外中心で過ごせ、バスでの移動時間も短く出来る場所を選び、現地では昼食以外は自由行動にしました。車内での飲食や会話を控えていただくなど制限はありましたが、参加者のご協力で無事終了、帰宅後も参加者からの体調不良の申し出はありませんでした。次回は今よりも状況が好転していると信じ開催したいと思っています。当町会のメインイベントでもある、もちつき大会は名称をもちつき体験会と変更して実施しました。例年実施しているおもちの試食は中止し、個包装の切り餅の配布に切り替えました。来場者には受付時に検温とマスク着用、手指消毒を徹底し、もちつき直前にも手指消毒をしてもらい、つく回数も決めて体験をしてもらいました。保管していた道具の劣化がひどかったり、密になる場面があったりしましたが、終了後に体調不良の申し出はありませんでした。課題はまだありますが、町会では今後ももちつき大会は続けるつもりでいます。



～児童館との合同行事・町会活動～ 白鷺三丁目町会 木村 稔 氏

これまで町会では、炊き出し・炊飯訓練の一環として西中野児童館で開催しているおまつりの中でもちつき大会を実施、協力してきました。開催にあたっては事前に児童館・PTA・町会で打ち合わせを行い、町会内部では令和元年に作成したもちつきの衛生管理指針にコロナ感染予防も含め、町会からの参加者に説明しています。当日は、希望した子どもたちにもちつきを体験してもらい、参加した子ども・保護者の方に楽しんでもらえたと思います。感染防止のため、おもちは持ち帰りとなりましたが約230名全員に渡すことができました。この他にも、やきいも交流会や合同防災訓練など児童館と協力している活動もあります。町会自体の活動で苦労していることは、感染が危惧されることから、募金活動で戸別訪問が出来なくなったり、防犯パトロールを欠席されている方への参加の強制が出来ないなど、コロナが大きく影響していることです。これまで町会活動を継続していくために、コロナ感染者が増加しても中止することではなく、どうやったら安全に活動出来るかを考えて実施してきました。今後も十分な感染対策をとりつつ、住民のみなさんや子どもたちに寄り添い、安全で安心なまちづくりを目指して活動していきたいと思っています。



10月の2日間、食品を扱わないゲーム性のある模擬店を主としたかみさぎ地区まつりを開催しました。開催の可否を決定する会議の中で、2年間開催出来ていなかったまつりを開催したいという気持ちはみんなありながら、コロナ感染予防に対する個人の考え方が大きく違うという課題に直面しました。会議を重ね、「開催する」「直前に中止とする状況をつくらない」という指針に一本化し、具体的には「食品を扱わない」「マスクをとる状況をなくす」「景品等も駄菓子などを扱わない」というレベルで進めることになりました。「模擬店」では、例年とは違うゲーム性のある内容で子どもたちを楽しませてくれ、「展示」は体験コーナーの人数制限、「バザー」は入場人数の制限を行い、「みこし山車」では太鼓たたき体験・写真撮影のコーナーに変更しました。「アトラクション」では、密集するテニスコートを避け武蔵台小学校の体育館を借りて、マスク着用・演技団体ごとの入替制・換気・消毒を行い開催しました。



今回は、まつりの各部門が動き出す前に指針の一本化が出来たので、早めに方向転換や工夫が出来たこと・直前に中止にしないという方向性を示したことで、実行委員も「子どもたちに楽しさを」という思いで一つに

なれたことが良かったのではと思います。

-----グループ懇談より-----

～Aグループ～

ウィンターコンサートが開催されたが、行事を通して子どもたちの成長が見えたり、違う一面が見られたりする。地域の伝統行事は、食べ物がからむことが多いため、現段階では中止にしているところが多い。今後は、少しずつ緩和されていくだろうから、食べ物については出来る範囲でやっていけたらいい。

地区懇談会の機会にいろいろ交流の場とかパイプづくりなど、地域の方と機会が持てたことが大変ありがたい。

～Cグループ～

学校やすこやか福祉センターなどで様々な相談が増えていく。コロナで厳しくなっている家庭もたくさんあると思うが、その歪みが子どもたちに向かっているのではないか。これから、子どもたちが学校で楽しく学んでいけるために何か必要なことがあるのではないかと思う。コロナが少しでも収まり、みんなで協力していけるようになればいい。

～Eグループ～

コロナ禍ではあるが、町会・学校など地域で連携しながら行事など中止にせず、感染症対策をしながら今までやってきた行事を継続していければいい。今までやっていた行事をかたちを変えて実施しているところもある。コロナ禍でおしゃべりしながら飲食というのはまだ難しいだろうが、来年度くらいからは夏まつりなど開催できたらいいとの意見もたくさんあった。

～むすびに～

コロナ禍での3年間で失われた3年間にするのではなく、この3年間で学んだこと、経験したことを子どもたちの成長や地域の発展などに活かしていければいいと思っています。以前に戻るといっても、以前よりもよりよい世の中になれば、この3年間の経験をそのために活かしていければと思います。

学校も地域の方々と共に歩んでいきたいし、子どもたちのために一緒になって頑張っていきたいと改めて思いました。今日が再スタートの第1歩の会になったなと感じました。

西中野小学校 高橋 明 校長先生

～Bグループ～

今後マスクを外したり、コロナの制限が緩和されていく中で、不安が大きい。どうにかたちでどのようにしていけばいいの、考えながら動いていくことが大事。

踏み出す1歩がみんなそれぞれ違う中で、足踏みしながらも一歩一歩少しずつ進めていく、出来ることを出来る範囲で動いていきましょう。

～Dグループ～

コロナが始まってからの2年間は、コロナ自体分からないことが多かったため、いろいろな活動が制限されいろんなことが出来なかったが、今年度になってまだ規制がかかっている状態ではあるが、いろんなことが元に戻りつつあるのではないかな。少しずつみんなで元に戻していこうという動きが出てきたのは良かった。

～Fグループ～

幼稚園では地域・学校との交流が再開できたことがなによりであった。小Pではコロナで制限がかかっていた活動をどのように保護者を巻き込んで活動していくかが課題となっている。児童館・学童ではクラスターにならないよう消毒等環境整備に力を入れてきた。地区まつりの子どもの姿を見て行事の重要性をあらためて感じ、地域の大人が繋がり支えていかなければと思う。これからは、若い人をどれだけ町会や地域活動に引き込めるかが重要な問題。行事を通じた積極的な声かけから徐々に輪が広がっていくと思う。



【北中野中学校区地区懇談会事務局】

地域連携の実現に向けて、次世代育成委員にお手伝いできることがありましたら、気軽に声をかけてください。

次世代育成委員：東出淳子 小西恵 伊東よりこ
かみさぎ児童館：小泉みゆき 3998-0074
西中野児童館：小谷哲也 3339-9826